

# 手塚たかひろ

## 議会報告

NO 13 2014年3月5日

連絡先 枚方市禁野本町 1-5-15 106

Tel・Fax 072 - 849-1545

自宅 枚方市宮之下町 13-12

携帯 080-1509-0706

ブログ <http://ameblo.jp/shiminnokai-tezuka-t/>

HP <http://www.tezukatakahiro.com/>



一月二十九日 枚方市議会全員協議会 枚方市退職手当審査会答申「前市長の退職金二・三期目（五一八四万円）の全額返還を命じるのが妥当」を受けて、一〇人の議員が発言した。「前市長の功績を評価すべき」「前市長は生活に困っている」「返還請求をすべきではない。慎重に」などの前市長の責任を不問にする発言が八人の議員からでた。私は「答申を尊重するのは当然」「談合を防止できなかった組織の問題点を徹底的に明らかにすべき」「市民が入札の内容を検証できるように情報公開制度を改善すべき」と発言した。（私の発言と答弁要旨は裏面に）

## 2月24日 本会議開会

3月26日までの日程で、市政運営方針や来年度予算案について審議が行われています。

### \* 市長の市政運営方針報告

市政運営方針は、「子どもを取り巻く環境が大きく変化し、新たな価値観の形成が求められる中で、教育のはたす役割はますます重要となっています。今後、子どもたちの協調性やプレゼンテーション能力、合意形成能力を育む教育活動を強めます」と方向性を打ち出している。このような能力も必要だが、ことさらに強調することは、子どもの管理を強化し、自主性を奪い個性を摘み、子どもを型にはめ教師や集団に従順な子どもを育てることを目的にするのかとの危惧を覚える。

命を大切にし、自分と同じように他人も大切であること、個性を大切に子どもを育てる力をはぐくむことが教育の目的だと思う。

「平和と人権を守る」を言いながら、憲法9条の役割や憲法について一言も触れていないことは、平和憲法がなし崩し的に変えられようとする情勢にコミットしない言葉だけの「平和」で具体性がない。

「市民サービスの向上と効率的な管理運営を図るとともに、利用者の意見等を踏まえながら、生涯学習施設と図書館の複合施設への指定管理者制度導入に向けて準備を進めます」と、楠葉・牧野・菅原・津田・さだ生涯学習市民センター、御殿山美術センターと併設の各図書館を一体管理し、民間に管理運営を委託する方向を打ち出した。

生涯学習市民センターは単なる貸館ではなく、市民の自主的な自治活動の拠点、図書館も市民に図書を提供する役割を持っている。民間委託でこのような役割が果たせるのか疑問だ。市民への行政責任はどうなるのか。利用している市民の意見を聞いて、方針を見直すことが必要だ。

### \* 14年度予算案

来年度の予算案は、一般会計が前年度比67億円の1225億円 国民健康保険特別会計 水道事業会計など特別会計・企業会計を入れると、前年度比100億円増の2529億5882万円になる。医療費助成の小学校3年までの拡大など評価すべき点もあるが、新消防本部庁舎の建設、京阪本線の立体交差事業など多額の資金を要する事業も多数計画されている。税金の無駄遣いを許さない徹底した監視が必要だ。

\* 議員報酬・期末手当の手取りの半額を法務局に供託しています

\* 政務活動費は受け取っていません